

福島高専有本さんから 日米の学生が交流会

東日本大震災で被災した
高校生らと米国の若者の交
流会が8日、東京都港区の
ルース駐日米大使公邸で開
かれた。飛び入り参加した



クリントン国務長官は、震
災復興に取り組む日本がア
フガニスタンへの支援継続
を表明したことについて
「世界に素晴らしい模範を
示した」と評価した。

交流会には、日米の学生
ら約20人が参加。東京電力
福島第一原発事故の影響で
大熊町からいわき市に避難
している福島高専2年の有
本温子さん(16)は「事故で
故郷を失い、生活は一変し
た。それでも一歩ずつ前に
進むことができる。私たち
の世代が東北の未来をつく
っていく」と述べた。ルー
ス氏は「両国の若い世代へ
の投資を通じて『トモダチ
世代』が生まれることを期
待している」と述べた。

▲被災した高校生らと記念撮
影する、クリントン米国務
長官(中央)とルース駐日
米大使(後列右から3人目)
118日午後、東京都港区の
駐日米大使公邸(代表撮影)